

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:市民会館指定管理委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>本市では、市民の芸術文化や文化創造の拠点として、市民の心豊かな生活と活力ある地域社会の実現に向けて、地域での芸術や文化の振興を図るために福生市民会館を設置している。</p> <p>当施設の運営は、平成20年度までは本市直営によるものであり、当時の運営上、芸術や文化の専門的知識やノウハウに乏しく、時代に即した文化活動への取組ができなかったため、利用者や来館者からサービスの改善を求められていた。</p> <p>そこで、平成21年度から指定管理者制度を導入し、民間事業者の専門的知識やノウハウを生かして、行政では実施することが困難な取組を行い、地域住民が質の高い芸術や文化に触れることができる身近な施設として、引き続き、より一層のサービス水準の向上を図る。</p> <p>【参考指標】 福生市の人口 : 58,613人 (平成28年1月1日現在)</p>								
補助事業の内容	福生市民会館の維持運営								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度から平成29年度 基金の処分:平成26年度から平成30年度								
事業費及び交付金額	基金造成額 (A)					基金処分額 (B)	基金残額 (A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				計
		円	円	円	円	円	円	円	円
	25	80,000,000				80,000,000		80,000,000	
	26	207,223,000				207,223,000	78,500,000	208,723,000	84,623,000
27	60,304,000				60,304,000	77,000,000	192,027,000	84,578,000	
28						80,000,000	112,027,000	84,032,800	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>施設利用者及び来館者に対してサービス水準の満足度についてのアンケートを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内のスタッフの対応について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて88%。</li> <li>・利用申込みの申請・チケットの購入などについて、「非常にスムーズ」、「まあまあスムーズ」を合わせて69%。</li> <li>・ホール・集会室などの清掃について、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて84%。</li> <li>・館内の案内表示の見やすさについて、「非常に良い」、「まあまあ良い」を合わせて79%。</li> </ul> <p>全般として「非常に悪い」という回答は全くなく、また「やや悪い」との回答もわずかであり、利用者のサービス水準についての満足度は高いレベルである。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <p>本事業について防衛省の交付金を活用して実施している旨を、市民会館館報、市ホームページに掲載して周知を図った。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

継続事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:古民家等の維持・管理事業(基金)						
補助事業者名	福生市長						
事業主体	福生市						
実施場所	福生市内						
継続事業の目的	<p>本市では、祖先の遺した貴重な文化遺産を現代に生かし、さらに未来に伝えることを目的に文化財保護行政を行っているが、市としてかつての福生の生活様式を伝える古民家を有しておらず、従来より古民家を活用した事業を行う必要性を感じていた。</p> <p>平成25年度に相続の関係から市内の古民家を購入する目処が立ったことから、古民家保存事業(基金)により、市として古民家を購入し、従来からの課題であった市内の生活様式を伝えるための事業に着手し、古民家を活用するとともに、後世に適切な形で残していくために必要となる維持管理を行っていく。</p>						
継続事業の内容	古民家等の維持・管理 (管理人配置、修繕、庭木管理等)						
継続時事業の始期及び終期	基金の造成:平成25年度 基金の処分:平成26年度から平成34年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額				交付金充当額		
	9,363,638円				7,500,000円		
基金の造成及び処分	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	円	円	円	円	円	円	円
	39,006,000				39,006,000	12,000,000	27,006,000
継続事業の成果及び評価	<p>平成28年度は、5月28日より一般公開を行った。</p> <p>防犯、防火対策としての機械警備や、最低限必要な庭木の管理を行うことで、良好な状態で古民家を維持管理した。</p> <p>来場者数2,967人(平成28年5月28日～平成29年3月31日)小学生から高齢者まで幅広い層に来場していただいた。</p>						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

## 事業評価書

補助事業名	教育文化施設:中学校給食用設備(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市大字熊川845番地								
補助事業の成果の目標	<p>現在、本市内の全中学校の昼食においては、生徒に弁当を持参させており、弁当の持参が困難な生徒については、各学校内に設けられているランチルームにて昼食を提供しているところであるが、平成26年2月の教育委員会定例会において、平成29年度から市内全中学校全生徒を対象とした完全給食を実施する旨の決定がなされたところである。</p> <p>そこで、給食を円滑に進めるために、本事業である給食用昇降設備を整備し、生徒に対して安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境を整える。</p> <p><b>【参考指標】</b>  平成27年度の各中学校生徒数(平成27年5月1日現在)  福生第一中学校 : 446名  福生第二中学校 : 520名  福生第三中学校 : 262名</p>								
補助事業の内容	市内の小中学校において、給食を円滑に進めるために、給食用昇降設備等を整備し、生徒に対して安定的に給食を提供できる環境を整える。								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成26年度から平成27年度 基金の処分:平成26年度から平成28年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額	
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益				
		円	円	円	円	円	円	円	円
	26	10,000,000				10,000,000	2,033,000	7,967,000	2,138,400
27	80,000,000				80,000,000	20,000,000	67,967,000	26,730,000	
28						67,967,000		90,978,120	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  生徒に対して安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境が図られているかを給食配膳員に対し聞き取り調査を行う。  市内3中学校全ての配膳員(14名)に聞き取り調査を実施した。結果、全体の80%以上の職員から、中学校給食用設備整備を行ったことで、生徒に対し安定的かつ衛生的に給食を提供できる環境が整備されたとの回答が得られた。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  ・工事期間中、施設の出入口付近に交付金を活用した事業である旨を掲示した。  ・工事完了後、教育広報平成29年1月4日号に掲載した。今後ホームページにも掲載する予定。また施設の出入口付近の掲示板に掲示した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:英語教育指導助手(外国人)委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>福生市では、本市の子どもに、自信と誇りを持たせ、グローバル化する社会においても、積極的に人とコミュニケーションが図れる資質・能力を育成する英語教育を展開することを重点目標としている。その目標達成の基幹となる本事業の推進のため、民間委託により外国人英語指導助手(ALT)を中学校に配置し、併せて小学校に随時巡回することで、児童・生徒が「話したいときや書きたいときに英語を使うことができる」という、より自然な学習環境を整備する。</p> <p>【参考指標】 平成28年度の各小中学校児童・生徒数(平成29年1月8日現在) 第一小学校:306名 第二小学校:424名 第三小学校:525名 第四小学校:217名 第五小学校:249名 第六小学校:401名 第七小学校:266名 (小学校計 2,388名) 第一中学校:426名 第二中学校:480名 第三中学校:287名 (中学校計 1,193名) (児童・生徒数合計 3581名)</p>								
補助事業の内容	英語教育指導助手(外国人)の中学校常駐及び小学校巡回配置に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成28年度 基金の処分:平成28年度から平成34年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28	90,000,000				90,000,000	10,000,000	100,000,000	16,114,429
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 【アンケート結果】 ・ALTの授業で力がついてきている 小学生 86.6% 中学生 73.8%</p> <p>・ALTの授業は英語力の向上に役立つと思う 小学生保護者 96.8% 中学生保護者 95.5% 小学校教員 95.6% 中学校教員 100.0%</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 市ホームページに掲載した。また、平成29年10月発行の市報「福生の教育」に平成28年度の実績等について掲載する予定である。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								

## 事業評価書

補助事業名	住民の生活の安全に関する事業:通学路見守り委託事業(基金)								
補助事業者名	福生市長								
実施場所	福生市内								
補助事業の成果の目標	<p>児童・生徒が登下校中に犯罪や交通事故に巻き込まれる事件が全国的に後を絶たない状況がある。</p> <p>福生市内においては、不審者情報が頻繁に寄せられ、児童が怪我を負わされたりする事件等が発生している。また、これまでも児童の保護者や地域の方々が、自主的に登下校中の見守りを行っているが、地域の特性等や意識により、見守りの状況は、学校ごとに異なっている。</p> <p>このため、全児童が登下校中に犯罪及び交通事故による被害を受けないよう、全小学校の通学路において見守り体制を整備し、児童の安全確保を図る。</p> <p>【参考指標】 教育委員会に寄せられた不審者情報件数  実績 平成26年度 23件  平成27年度 13件(平成27年12月末現在)</p>								
補助事業の内容	通学路見守り員の配置及び巡回に係る業務委託								
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成29年度 基金の処分:平成28年度から平成34年度								
事業費及び交付金額	基金造成額(A)						基金処分額(B)	基金残額(A)-(B)	継続事業に要した額
	年度	交付金	市町村費等	その他	運用益	計			
		円	円	円	円	円	円	円	円
	27	20,000,000				20,000,000		20,000,000	
	28						10,000,000	10,000,000	11,167,540
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕  平成28年度末に学校や保護者を対象に見守り事業に関するアンケートを実施したところ、約9割の方から「児童の通学が安全になったと思う」との回答があり、市民から一定の評価があったと考えている。  市に寄せられた不審者情報件数については、27年度は14件、28年度は20件と増になっているが、見守り員にも不審者情報を提供して、より効果的な見守りを行った。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕  市ホームページに掲載した。また、平成28年4月の市報「福生の教育」において、見守り事業について全市民に周知した。</p>								
事業の改善措置及び今後の対応	無								
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無								